

北九州ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業

平成18年度 環境モニタリング調査結果

日本環境安全事業株式会社

北九州事業所

< 周辺環境 >

要素	調査地点 ^(注1)	調査項目	単位	測定結果				年平均	頻度	(参考)環境基準値等
				5月	8月	11月	2月			
大気	敷地南西端	PCB	mg/m3	0.00000030	0.00000018	0.00000041	0.00000026	0.00000029	1年に4回	0.0005以下
		ダイオキシン類	pg-TEQ/m3	0.029	0.076	0.089	0.190	0.096		0.6以下
		ベンゼン	mg/m3	0.0082	0.0018	0.0055	0.0043	0.0050		0.012以下
水質 (海水)	雨水洞海湾出口沖	PCB	mg/L	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	1年に2回 (自主的に4回)	検出されないこと ^(注2)
		ダイオキシン類	pg-TEQ/L	0.073	0.058	0.071	0.057	0.065		1以下
地下水	雨水敷地出口付近	PCB	mg/L				不検出		1年に1回	検出されないこと ^(注2)
		ダイオキシン類	pg-TEQ/L				0.059			1以下
土壌	雨水敷地出口付近	PCB	mg/L				不検出			検出されないこと ^(注2)
		ダイオキシン類	pg-TEQ/g				0.026			1000以下
底質	雨水洞海湾出口沖	PCB	(成分)	mg/kg				不検出 ^(注3)		-
			(溶出)	mg/L				不検出 ^(注2)		-
		ダイオキシン類	pg-TEQ/g				2.6			150以下
生物 ^(注4)	雨水洞海湾出口沖	PCB	pg/g-wet				16,000		-	
		ダイオキシン類	pg-TEQ/g-wet				1.2		-	

(注1:調査地点は添付2に示す)

(注2:検出限界値は0.0005mg/L)

(注3:検出限界値は0.05mg/kg)

(注4:調査対象はムラサキインコガイ(検体の脂肪重量は1.70%))

北九州ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業

平成18年度 環境モニタリング調査結果

日本環境安全事業株式会社

北九州事業所

< 排出源 >

要素	調査地点 ^(注5)		調査項目	単位	測定結果				頻度	管理目標値
					5月	8月	11月	2月		
排気	洗浄排気1	G1	PCB	mg/m3N	0.000011	不検出 ^(注8)	0.000038	不検出 ^(注8)	1年に4回	0.01以下
			ダイオキシン類	ng-TEQ/m3N		0.0000076		0.000022	1年に2回	0.1以下
	洗浄排気2	G2	PCB	mg/m3N	不検出 ^(注8)	不検出 ^(注8)	不検出 ^(注8)	不検出 ^(注8)	1年に4回	0.01以下
			ダイオキシン類	ng-TEQ/m3N		0.000011		0.00081	1年に2回	0.1以下
	真空加熱分離系排気	G3	PCB	mg/m3N	不検出 ^(注8)	測定なし ^(注10)	測定なし ^(注10)	不検出 ^(注8)	1年に4回	0.01以下
			ダイオキシン類	ng-TEQ/m3N		測定なし ^(注10)		0.000025	1年に2回	0.1以下
			ベンゼン	mg/m3N		測定なし ^(注10)		不検出 ^(注9)		50以下
	液処理系排気1	G4	PCB	mg/m3N	不検出 ^(注8)	不検出 ^(注8)	不検出 ^(注8)	不検出 ^(注8)	1年に4回	0.01以下
			ダイオキシン類	ng-TEQ/m3N		0.000029		0.0000033	1年に2回	0.1以下
			ベンゼン	mg/m3N		不検出 ^(注9)		不検出 ^(注9)		50以下
	液処理系排気2	G5	PCB	mg/m3N	不検出 ^(注8)	不検出 ^(注8)	不検出 ^(注8)	不検出 ^(注8)	1年に4回	0.01以下
			ダイオキシン類	ng-TEQ/m3N		0.0000021		0.000022	1年に2回	0.1以下
			ベンゼン	mg/m3N		不検出 ^(注9)		不検出 ^(注9)		50以下
	換気	G6	PCB	mg/m3N	不検出 ^(注8)	不検出 ^(注8)	不検出 ^(注8)	0.00016	1年に4回	0.01以下
ダイオキシン類			ng-TEQ/m3N		0.000037		0.000013	1年に2回	0.1以下	
分析室排気	G7	PCB	mg/m3N	不検出 ^(注8)	不検出 ^(注8)	不検出 ^(注8)	不検出 ^(注8)	1年に4回	0.01以下	
		ダイオキシン類	ng-TEQ/m3N		0.00000023		0.000015	1年に2回	0.1以下	

(注5: 調査地点は添付2及び3に示す)

(注6: 1~10塩素化物それぞれの検出限界値は0.02 µg/m3)

(注7: 1~10塩素化物それぞれの検出限界値は0.001 µg/m3)

(注8: 1~10塩素化物それぞれの検出限界値は0.01 µg/m3)

(注9: 検出限界値は1mg/m3)

(注10: 真空加熱分離装置の稼働がなかったため)

北九州ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業

平成18年度 環境モニタリング調査結果

日本環境安全事業株式会社

北九州事業所

< 排出源 >

要素	調査地点 ^(注1)	調査項目	単位	測定結果		頻度	管理目標値
				7月(排水は8月)	2月		
排水	下水排水渠	PCB	mg/L	不検出 ^(注11)	不検出 ^(注11)	1年に2回	0.003以下
雨水	敷地出口	PCB	mg/L	不検出 ^(注11)		1年に1回	0.003以下
		ダイオキシン類	pg-TEQ/L	0.39			10以下
悪臭	敷地境界 (風上)	アセトアルデヒド	ppm		不検出 ^(注12)	1年に1回	0.05以下
		トルエン	ppm		不検出 ^(注13)		10以下
		キシレン	ppm		不検出 ^(注14)		1以下
	敷地境界 (風下)	アセトアルデヒド	ppm		不検出 ^(注12)		0.05以下
		トルエン	ppm		不検出 ^(注13)		10以下
		キシレン	ppm		不検出 ^(注14)		1以下
	真空加熱分離系排気	アセトアルデヒド	ppm		不検出 ^(注12)		0.05以下
		トルエン	ppm		不検出 ^(注13)		10以下
		キシレン	ppm		不検出 ^(注16)		1以下
騒音	敷地境界 (北)	騒音レベル	dB(A)		48(49)	1年に1回	70以下 (夜間65以下)
	(南)				50(51)		
	(東)				53(50)		
	(西)				56(55)		

(注11: 検出限界値は0.0005mg/L)

(注12: 検出限界値は0.005ppm)

(注13: 検出限界値は1ppm)

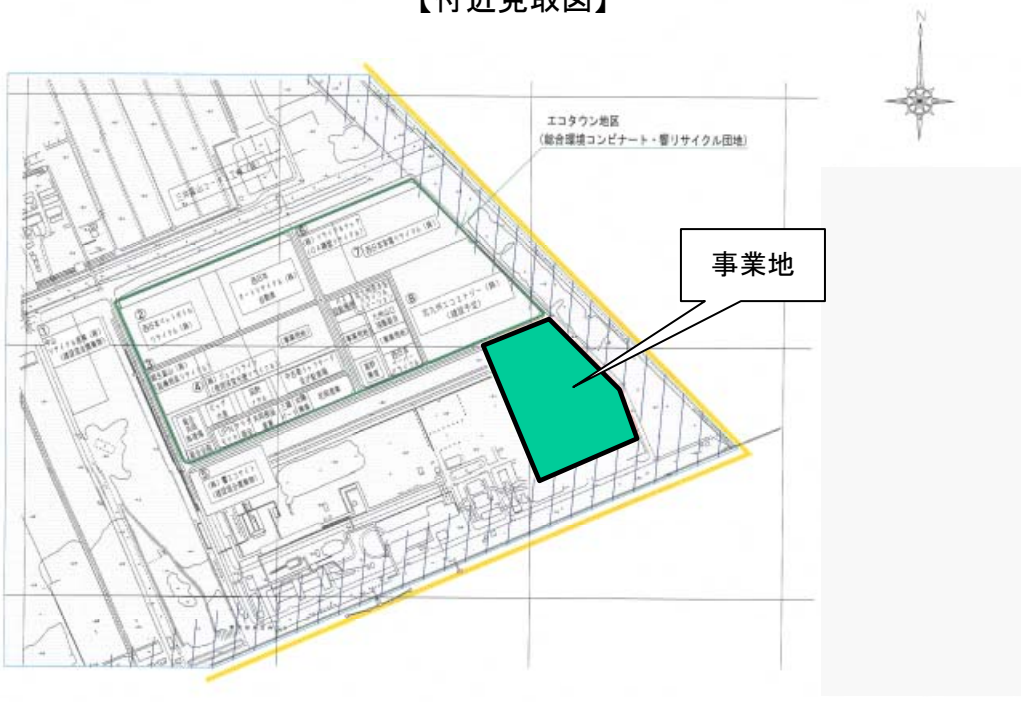
(注14: 検出限界値は0.1ppm)

(注15: 検出限界値は0.5ppm)

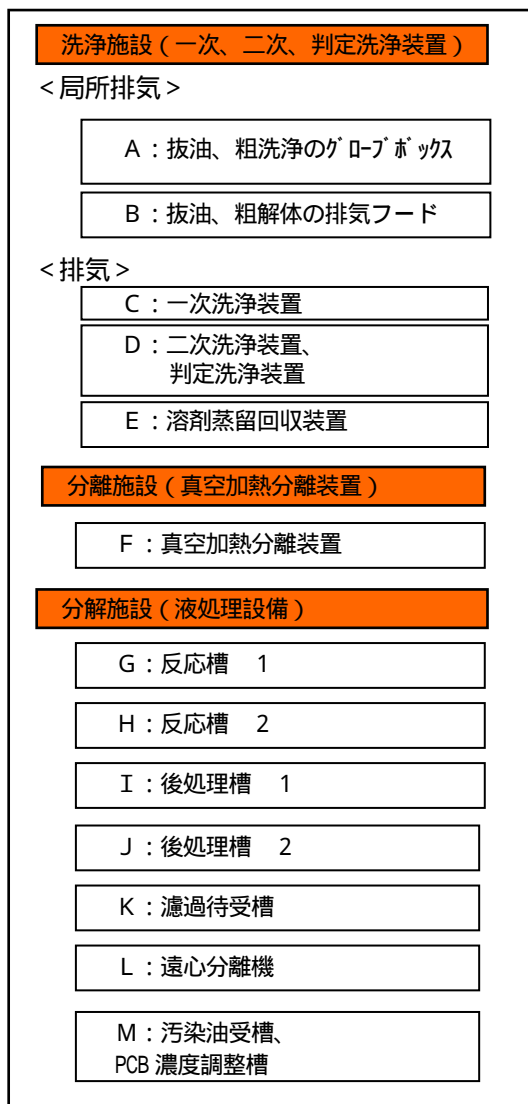
【事業地 位置図】



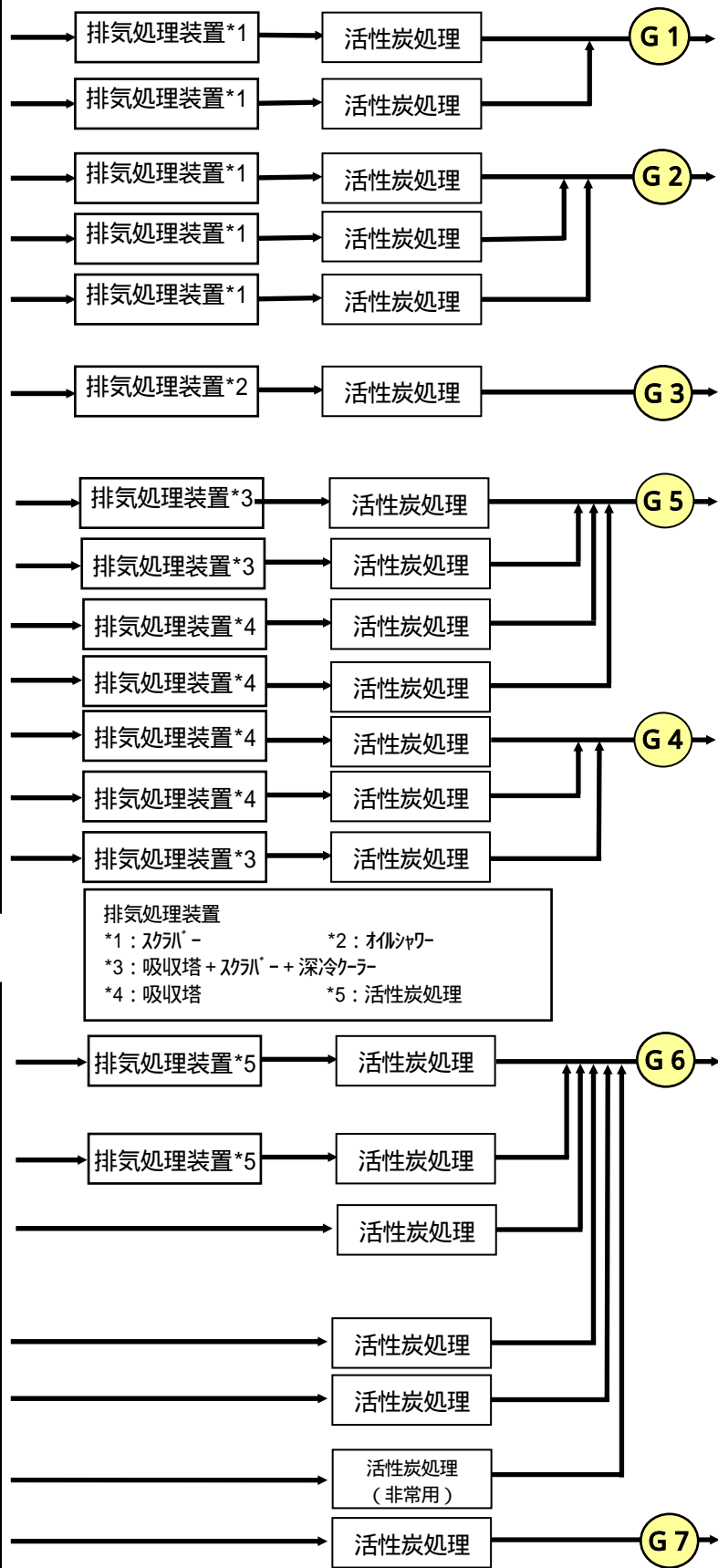
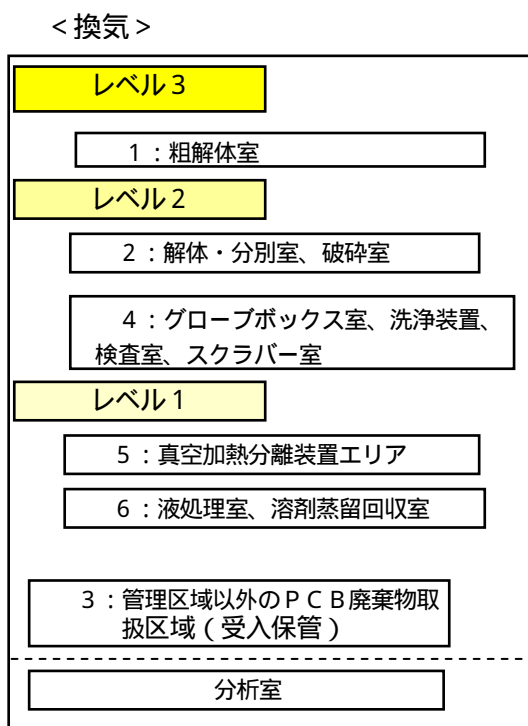
【付近見取図】



排気測定のスプリング箇所



● : サンプルングポイント



排気処理装置
 *1 : スクラパー *2 : オイルシャワー
 *3 : 吸収塔 + スクラパー + 深冷クーラー
 *4 : 吸収塔 *5 : 活性炭処理